

# 三勲小だより

令和2年10月14日(水)



## < 10月5日(月) 全校朝会の校長の話(校内放送) >

おはようございます。金曜日は鑑賞会で学芸館高校の皆さんの素晴らしい演奏を聴きましたね。知っている曲もあってとても楽しかったですね。楽器紹介もあったので、いろいろな楽器の違った音色が一つになって、あんないい音楽ができるということも分かったと思います。さて、この楽器も使われていましたね。何という楽器でしょう。そう、フルートです。ではこれは木管楽器、金管楽器のどちらだったでしょう。そう、フルートはどうみても金管楽器のようですが昔は木でできていたので、木管楽器の仲間でした。よく覚えていましたね。こんな音でしたよ。♪「さんぽ」(となりのトトロより)♪ 校長先生も吹奏楽をしています。今はコロナで練習をお休みしています。でも、金曜日の演奏を聴いて早く練習したくなりました。学芸館高校の人たちは終わってから皆さんがとても一生懸命に聞いてくれたので、とてもうれしい気持ちで演奏できたと話しておられました。皆さんも2学期からは学校で歌やリコーダーや鍵盤ハーモニカなどを練習していますね。家でピアノなどを習っている人もいるでしょう。もしかしたら吹奏楽をやりたい人もあるかもしれませんね。音楽は人の心を優しくしたり元気にしたりする不思議な力をもっています。そして演奏する人と聴く人の心もつないでくれます。これからも歌ったり楽器を演奏したり、いい音楽を聴いたりして音楽と仲よしになってほしいと思っています。

さて、今日はもう一つお話をしましょう。皆さんはメールで使う顔文字というのを知っていますか。

☺ ←これは? 「うれしい」 ☹ ←これは? 「悲しい」 😡 ←これは? 「怒っている」

このように顔文字は記号だけで相手に気持ちを伝えられるのでとても便利です。

アメリカにも顔文字があります。見せてあげましょう。 😊 ☹ 😡 これは縦にして見るのですね。では、日本とアメリカを比べてみて他に気づくことはありませんか。日本では目の部分に変化を付けて気持ちを表すものが多いようです。これに対して、英語の顔文字はどちらかといえば口の部分で表情を変化させることが多いようです。口は目よりも動かしやすいので、アメリカでは、口の様子から相手の気持ちを読み取ることが多いそうです。だから顔文字も口の形の違いで気持ちの違いを表しているのでしょうね。日本には、「目は口ほどにものを言う」ということわざもあるように、口で言うのと同じように自分の気持ちを目で表すことを大切にしています。皆さんはコロナの予防のためにいつもきちんとマスクをつけていますね。目しか出ていませんが、目と心はつながっています。あいさつする時、人とお話をする時、しっかりと相手の目を見て伝えてみましょう。きっと目から目に気持ちが届くと思います。今週の土曜日10月10日はこのようにかくと ☹ ☹ 人の眉と目に見えるので「目の愛護デー(目を大切にする日)」と言われます。目を大切にすることに併せて、目を見てあいさつやお話をして自分の気持ちを人に伝えてみましょう。きっとマスクをしていてもいろんな人と心が通じてもっとなかよしになれるですよ。今日は音楽のお話と目で気持ちを伝えるというお話をしました。

